

## 17の目標などを確認

～SDGs役員・幹部職員研修会～

3月26日、「持続可能な開発目標（SDGs）」の役員・幹部職員研修会を本店で開きました。役職員約50人が参加し、SDGsに対する理解を深めました。

J A青森中央会の蒔苗文彦課長が講師を務め、SDGsの基礎や17の目標、J Aグループ青森の取り組みについて説明しました。

山内敏組合長は「今後も17の目標に結びついている事業・活動を継続し、組合員や地域住民への理解と浸透を図る取り組みを、関係機関と連携して行いたい」と話しました。



SDGsについて学ぶ役職員

## 予察と防除を徹底

～令和3年板柳りんごSS部会員・予察員研修会～

板柳りんごSS部会は3月25日、多目的ホールあぶるで令和3年板柳りんごSS部会員・予察員研修会を開き、35人が参加しました。

令和3年産りんごの生育や薬剤散布の留意点、交信かく乱剤「コンフェューザーR」についての確認と、病虫害予察員へ委嘱状の交付をしました。

参加者は「近年は黒星病を重点的に防除してきたが、その他の病虫害についても気を付けなければならない。しっかりとした予察を行いながら防除に努めたい」と話しました。



講師の説明を聞く参加者

## 講座を振り返る

～女性営農生活講座移動学習・閉講式～

3月29日、31日、4月1日、女性営農講座移動学習を開きました。受講者約60人が参加し、田舎館村観光いちご園アグリイーな田んぼアートの里や、十和田市上北農産加工の視察などをしました。また閉講式も行い、これまでの講座を振り返りました。皆勤賞を受賞した受講生26人には、賞状と記念品を贈りました。



観光いちご園アグリイーな田んぼアートの里見学



上北農産加工視察

## 地域農業教育に役立てて

～大川記念農業教育基金協会が図書費贈呈～

大川記念農業教育基金協会は3月23日、平川市役所で農業等図書費寄贈を行いました。

古川欽一会長は「有効に使って皆さんのお役に立ててください」と目録を長尾忠行市長に手渡しました。長尾市長は感謝状を贈るとともに、長年の寄贈に感謝の意を表しました。

同協会は、旧J A津軽平賀の組合長として長年活動してきた故・大川豊氏が、地域農業の活性化のため、今後の農業後継者やJ A役職員の教育事業に活用してほしいと自身の退任慰労金を寄贈したことをきっかけに発足しました。



目録を受け取った平川市長（左）